

1-3 地域研究会・合同地域研究会の実施



東京大学地震研究所

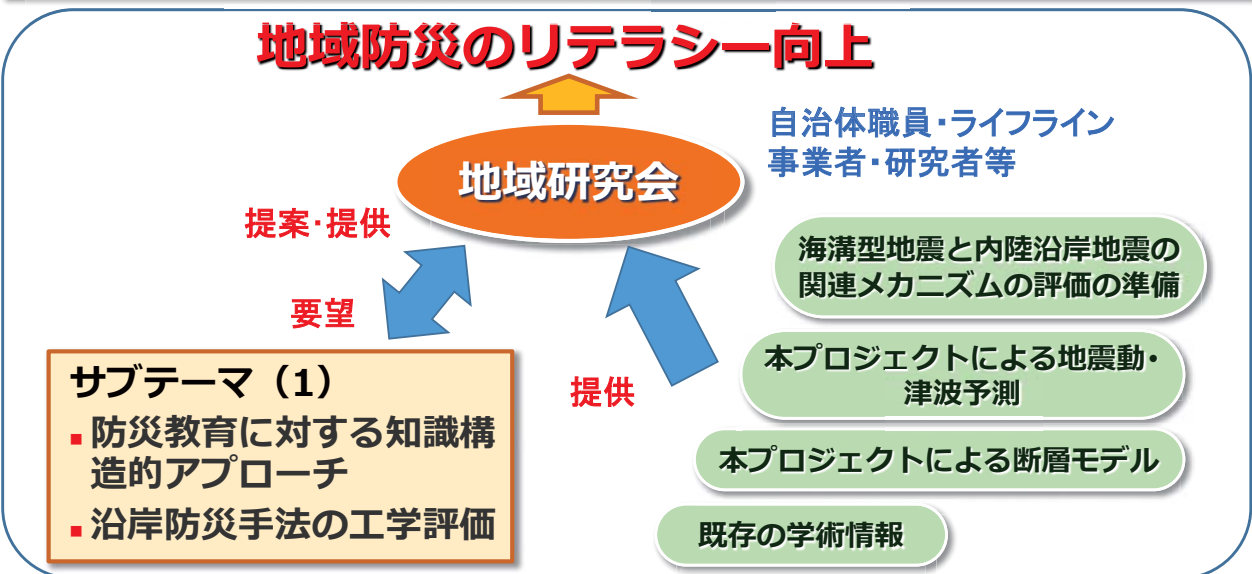
地域研究会の目的・概要



目的

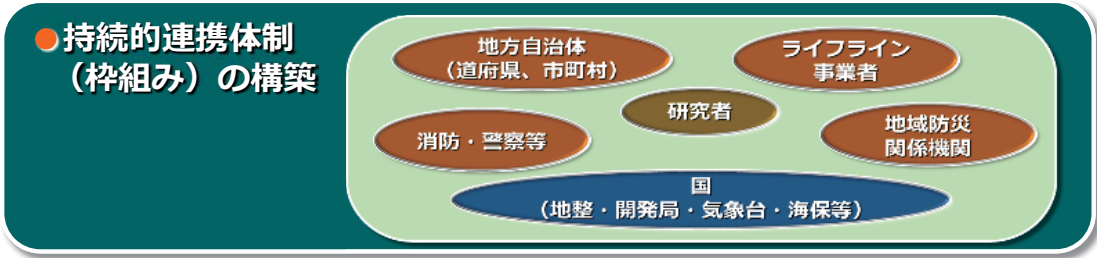
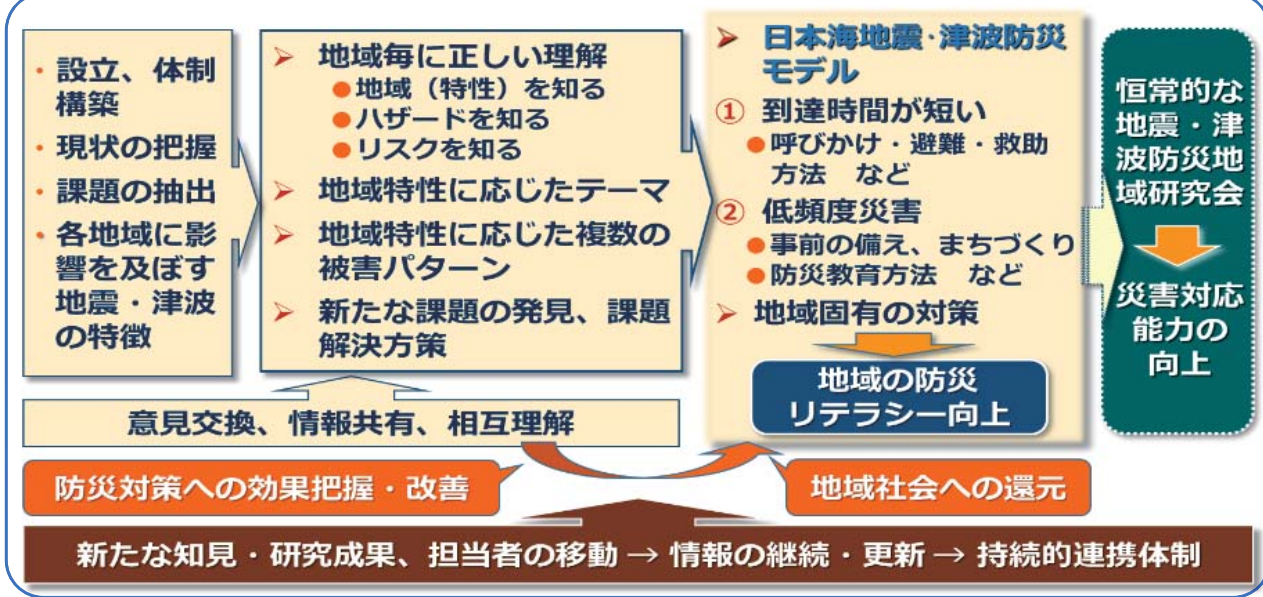
- 本プロジェクトの研究成果と既存の学術情報（自然科学・社会科学）を提供・共有、地域ごとに異なる諸状況に合った地域防災リテラシーの向上と地域への還元
- 恒常的な地震・津波防災地域研究会を構築

地域防災のリテラシー向上

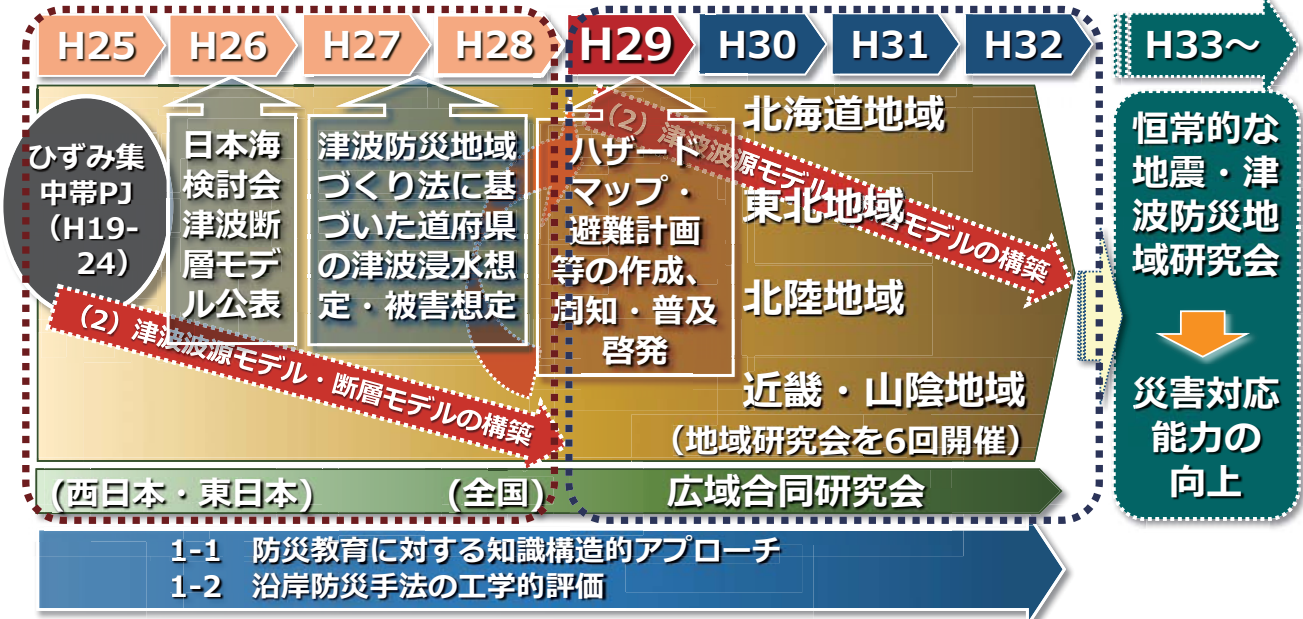




地域研究会のフレームワーク



地域研究会の開催計画



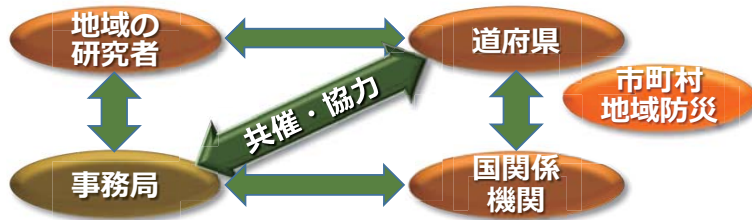
- **開催方針**
- 本プロジェクトの成果を、自治体やライフライン事業者等が講ずべき施策に反映できるよう、地域ごとに分かり易く伝達。
 - 市民の防災意識醸成や行動に結びつくような自治体からの働きかけができるよう、自治体等の理解を促進。



地域研究会の開催方針

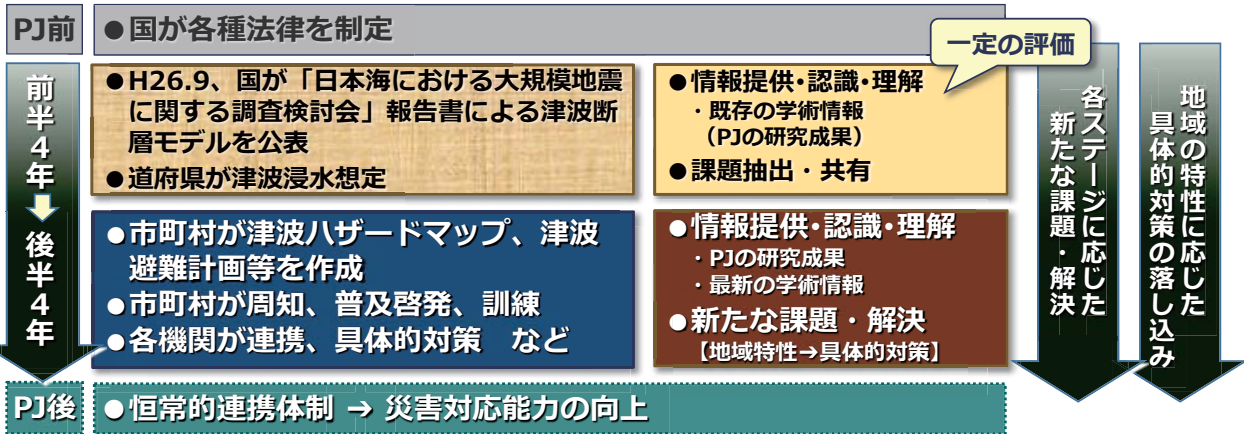
(前半4年間を終え、後半の4年間に向けて)

協調・協働の関係構築 → 持続的連携体制の枠組み構築



- 参画機関の拡大・継続
 - 道府県 (各部署)
 - 市町村防災担当
 - 消防、警察
 - 地域防災
 - 指定 (地方) 公共機関 (ライオン事業者、報道機関) など

★ 阻害要因: 担当者異動 → 継続性確保 → 情報の共有・継続、持続的連携体制
 ★ 促進要因: 意識の醸成、気運の高まり、地域研究会の有効活用、参画機関の拡がり等
 → 協調・協働の (顔の見える) 関係構築 → 共催・協力 → 持続的連携体制の構築



平成29年度 地域研究会の開催実績 (テーマと内容)



- 地域研究会を6回開催 (北海道、北海道地域版、山形県、新潟県、富山県、京都府)
- 地域の実情に合わせたテーマ、内容、対象を設定
- 北海道地域版 (余市町) は新規開催、京都府は新規立ち上げ

地域	テーマ	内容
北海道	北海道の新たな津波浸水想定をどう読み解くか	● 講演 「北海道日本海側の津波浸水想定について」 ● WS 「新たな津波浸水想定結果への対応と課題」
北海道 (余市町)	防災井戸端会議 in 余市「みんなで考えよう! 余市の津波防災」	● 講演 「北海道日本海側の地震・津波: 千島海溝沿いの超巨大地震の前に起きること」 「東日本大震災における津波防災と日本海側沿岸部における津波防災の違い」 ● 防災井戸端会議 (WS) 「みんなで考えよう! 余市の津波防災」
山形県	山形県の津波防災	● 話題提供 「日本海地震・津波調査プロジェクト: 進捗状況と今後の展開」 ● 意見交換 「山形県の津波防災への取組み」 ● 意見交換、現地踏査 「加茂水産高校の津波防災について~悩んでいる事、困っている事~」
新潟県	津波防災地域づくりにかかる意見交換会	● 講演 「新潟県の地震・津波対策~関係機関がとるべき対応とは~」 ● 情報提供 「津波浸水想定の設定とその後の対応」 「津波防災地域づくりに関する法律 (推進計画の作成)」 「警戒避難体制の整備について」 ● 意見交換 「新潟県の新たな津波浸水想定への対応~津波防災地域づくりの推進に向けて~」
富山県	富山県の新たな浸水想定~正しく恐れて、正しく備える~	● 講演 「日本海側の津波の特徴」 「東日本大震災における津波防災と日本海側沿岸部における津波防災の違い」 ● 意見交換 「富山県の新たな津波浸水想定~正しく恐れて、正しく備える~」
京都府	京都府の津波防災	● 情報提供 「日本海地震・津波調査プロジェクト: 日本海側の地震・津波の特徴について」 「京都府の津波浸水想定・被害想定及び津波災害警戒区域の指定について」 ● 意見交換 「京都府における地震・津波防災への取組みと課題 ~京都府の津波浸水想定・被害想定等を中心として~」

平成29年度 地域研究会の開催実績（参加機関）



地域	国			道県			市町村	消防警察	地域防災	ライフライン事業者	研究者	参加機関拡大	プレス公開
	地整・開発局	出先機関	気象台	海保	関係部局	出先機関							
北海道	◎	○	○	-	◎	○	○	●	(○)※1	●	◎	○	○※1
余市町※2	○	○	○	-	◎	○	◎	○	○	-	◎	-	○※2
山形県	-	○	○	○	◎	◎	○	○	-	-	-	-	○※3
新潟県	◎	○	○	-	◎	-	○	-	-	-	○	○	-
富山県	○	○	○	○	◎	○	○	-	○※4	○	○	-	○※4
京都府※5	○	○	○	○	◎	○	◎	○	-	-	◎	-	-

◎：事前協議を含め主体となる機関。

◎○：共催、協力機関。

●：新規参加機関。

※1：北海道地域研究会は第一部を「ほっかいどう防災教育協働ネットワーク」構成員にも公開、第二部は行政担当者・ライフライン事業者が参画、第一部、第二部ともプレス公開。

※2：北海道地域研究会（後志管内余市町版）は新規開催。地域住民を主な対象。第一部、第二部ともプレス公開。

※3：山形県地域研究会は第一部、第二部ともプレス公開。

※4：富山県地域研究会は第一部を一般公開、プレス公開、第二部は地域研究会構成機関を対象。

※5：京都府地域研究会は新規立ち上げ。

平成29年度 地域研究会 開催結果



● 効果（アンケート調査）

① 各機関の防災対策に参考（右図）

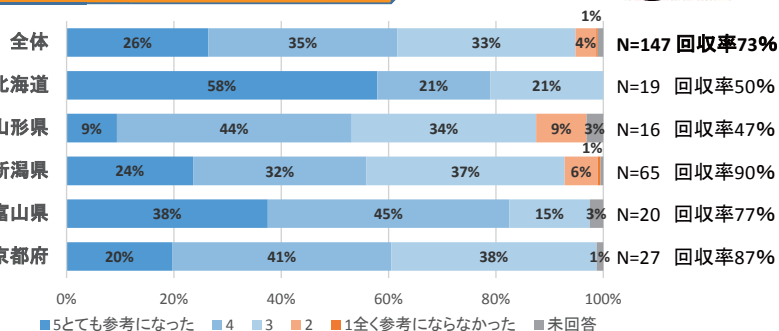
② 自由意見

● 他機関との連携・情報共有

- 他機関（特に市町村）の状況や課題等を知ることができた
- 他機関との連携の必要性、他機関と顔の見える関係ができた など

● 理解促進

- 日本海側と太平洋側の違い（地域の特性、メカニズム、避難、行動、対応等）
- 防災の基本的考え方、長期的なまちづくりの視点 など



● 後半4年間に向けて

① 地域の主体性（企画、共催、運営、周知、情報提供等）

② 持続的連携体制の枠組み（関係各機関の継続的参画）

※ 道府県、国交省（本省、開発局、各地整）、気象台、研究者に加え地域（市町村等）の協力

★ 今後取り組むべき事項

- 小規模自治体の担当兼務
- 発災時の全庁対応
- 地域・住民への周知
- 具体的対策への反映 など
- 担当者、庁内職員の理解促進と心構え
- 他機関との連携
- 防災意識の継続性 など

★ 参画機関の拡大→分かり易い情報の伝達（翻訳）

地域	企画	共催	運営周知等	情報提供	参集範囲
北海道	●	●	●	●	●
北海道(余市町)	●	●	●	-	●
山形県	●	●	●	●	●
新潟県	●	●	●	-	●
富山県	●	●	●	●	●
京都府	●	-	●	●	●

平成29年度 開催結果



● 第5回 北海道地域研究会

テーマ 北海道の新たな津波浸水想定をどう読み解くか

開催月日 平成29年10月3日

第一部 講演「北海道日本海側の津波浸水想定について」
 (講師：谷岡 勇市郎 氏 北海道大学大学院理学研究院 地震火山研究観測センター長 教授)

第二部 ワークショップ「新たな津波浸水想定結果への対応と課題」
 (ファシリテータ：定池 祐季 氏 東北大学災害科学国際研究所 助教)
 (コメンテーター：谷岡勇市郎 氏 北海道大学大学院理学研究院 教授)
 (コメンテーター：関谷 直也 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任准教授)

出席機関



平成29年度 開催結果



● 第5回 北海道地域研究会

テーマ 北海道の新たな津波浸水想定をどう読み解くか

開催月日 平成29年10月3日

備考
 ※北海道と共催とし、北海道開発局、札幌管区気象台が協力。
 ※第一部は「ほっかいどう防災教育協働ネットワーク」構成員、北海道消防学校に公開。
 ※第一部、第二部とも消防機関、ライフライン事業者、報道機関に拡大、プレス公開。



平成29年度 開催結果



●第6回 北海道地域研究会 防災井戸端会議 in 余市

テーマ みんなで考えよう！ 余市の津波防災

開催月日 平成30年3月18日（予定）

第一部 講話

①「北海道日本海側の地震・津波：千島海溝沿いの
超巨大地震の前に起きること」
(講師：佐藤 比呂志 東京大学地震研究所 教授)

②「東日本大震災における津波防災と
日本海側沿岸部における津波防災の違い」
(講師：関谷 直也 東京大学大学院情報学環
総合防災情報研究センター 特任准教授)

第二部 防災井戸端会議 (ワークショップ) 「みんなで考えよう！ 余市の津波防災」
(進行役：定池 祐季 氏 東北大学災害科学国際研究所 助教)

出席機関



平成29年度 開催結果



●第6回 北海道地域研究会 防災井戸端会議 in 余市

テーマ みんなで考えよう！ 余市の津波防災

開催月日 平成30年3月18日（予定）

備考 ※北海道日本海側沿海は他府県に比べ範囲が広域なため、一定の行政区分で捉え、今年度は後志管内（余市町）で開催。
※余市町・北海道と共催、北海道開発局・札幌管区気象台が協力（予定）、プレス公開。

防災井戸端会議 in 余市
～みんなで考えよう！ 余市の津波防災～

日時 平成30年 3月18日 (日) 13:30～16:30
会場 余市町中央公民館 3階 301会議室
[余市町] 0135-21-1142 [TEL] 0135-21-2144

第一部：講話

①「日本海側の津波の特徴」
佐藤 比呂志 東京大学地震研究所 教授

②「東日本大震災における津波防災と日本海側沿岸部における津波防災の違い」
関谷 直也 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任准教授

第二部：防災井戸端会議 (ワークショップ) 「みんなで考えよう！ 余市の津波防災」
進行役：定池 祐季 氏 東北大学災害科学国際研究所 助教

プログラム

13:30 開会
13:35 講話-1
14:05 講話-2
14:35 休憩
14:50 井戸端会議 (ワークショップ)
16:30 閉会

お申し込み方法
申込先：余市町 防災情報推進課 防災グループ (申込 専用)
TEL:0135-21-2142 FAX:0135-21-2144

お問い合せ先
余市町 防災情報推進課 防災グループ (申込 専用)
北海道 防災情報推進課 防災グループ (申込 専用)
東京大学地震研究所 (日本海側) 総合防災情報研究センター

平成29年度 開催結果



● 第5回 山形県地震・津波防災地域研究会

テーマ 山形県の津波防災

開催月日 平成29年9月13日

内容 第一部 話題提供「日本海地震・津波調査プロジェクト：進捗状況と今後の展開」
(講師：佐藤 比呂志 東京大学地震研究所 教授)
第二部 意見交換「山形県の津波防災への取組み」

出席機関



備考

※既存組織の庄内地域地震・津波等災害対策連絡協議会津波対策部会と共催。
※第一部、第二部ともプレス公開。



13

平成29年度 開催結果



● 第5回 山形県地震・津波防災地域研究会

テーマ 山形県立加茂水産高校の津波防災

開催月日 平成29年9月12日

内容 意見交換「加茂水産高校の津波防災について～悩んでいる事、困っている事～」
現地踏査「学校内、背後の避難場所、加茂地区集落内」

参加者 加茂水産高校 教諭・講師、山形県庄内総合支庁、地域研究会事務局

備考 ※昨年度の地域研究会に出席した同校講師から学校の津波防災について相談。
その後、情報交換を進めながら地域研究会に併せて意見交換、現地踏査。



14

平成29年度 開催結果



●第6回 新潟県地震・津波防災地域研究会

テーマ 津波防災地域づくりにかかる意見交換会

開催月日 平成29年12月19日

- 第一部 講演「新潟県の地震・津波対策～関係機関がとるべき対応とは～」**
(講師：岩田 孝仁 氏 静岡大学地域創造学環防災総合センター長 教授)
- 第二部 情報提供**
- 内容**
- ①「津波浸水想定の設定とその後の対応」
(国土交通省 水管理・国土保全局 海岸室 課長補佐 渡邊 国広 氏)
 - ②「津波防災地域づくりに関する法律（推進計画の作成）」
(国土交通省 総合政策局 参事官(社会資本整備)付 課長補佐 有田 翔伍 氏)
 - ③「警戒避難体制の整備について」
(国土交通省 水管理・国土保全局 水防企画室 課長補佐 小川 豊 氏)
- 第三部 意見交換「新潟県の新たな津波浸水想定への対応
～津波防災地域づくりの推進に向けて～」**

出席機関

県

市町村

地整

気象台

研究者

15

平成29年度 開催結果



●第6回 新潟県地震・津波防災地域研究会

テーマ 津波防災地域づくりにかかる意見交換会

開催月日 平成29年12月19日

備考 ※新潟県と共催。



16

平成29年度 開催結果



● 第5回 富山県地震・津波防災地域研究会

テーマ **富山県の新たな津波浸水想定～正しく恐れて、正しく備える～**

開催月日 平成29年 8月28日

第一部 **地域防災フォーラム「富山県の新たな津波浸水想定～正しく恐れて、正しく備える～」**

講演-1「日本海側の津波の特徴」
(講師：佐藤 比呂志 東京大学地震研究所 教授)

講演-2「東日本大震災における津波防災と日本海側沿岸部における津波防災の違い」
(講師：関谷 直也 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任准教授)

第二部 **防災関係者意見交換会「富山県の新たな津波浸水想定～正しく恐れて、正しく備える～」**



平成29年度 開催結果



● 第5回 富山県地震・津波防災地域研究会

テーマ **富山県の新たな津波浸水想定～正しく恐れて、正しく備える～**

開催月日 平成29年 8月28日

備考 ※第一部は富山県と共催とし、一般公開、プレス公開。
※第二部は地域研究会構成機関を対象。



地域防災フォーラム

「富山県の新たな津波浸水想定～正しく恐れて、正しく備える～」

- 日時 8月29日(水) 13:30~15:30
- 会場 ホテルフォートとやま 4階 雑居の館
- 主催：日本海地震・津波調査プロジェクト(東京大学地震研究所)、富山県
- 主催者挨拶：富山県総合防災課防災・危機管理課 国保課・地域防災担当 大木 英文

- 講演** 「日本海側の津波の特徴」
講師：佐藤 比呂志
東京大学地震研究所 教授
専門は構造地震学、ライフライン工学、原状地盤学。防災対策の重要性による自治体の積極的イニシアチブ推進の重要性を踏まえた地域防災の推進に努めている。主要な発表論文として「日本海側沿岸部における津波浸水想定」(国土交通省「国土強靭化計画」)、「日本海側沿岸部における津波浸水想定」(国土交通省「国土強靭化計画」)、「日本海側沿岸部における津波浸水想定」(国土交通省「国土強靭化計画」)。
- 講演** 「東日本大震災における津波防災と日本海側沿岸部における津波防災の違い」
講師：関谷 直也
東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任准教授
専門は、防災学、災害工学、防災工学、防災学、防災学。災害の発生から発生後の復旧までの一連の過程を踏まえた防災の推進に努めている。主要な発表論文として「東日本大震災における津波浸水想定」(国土交通省「国土強靭化計画」)、「東日本大震災における津波浸水想定」(国土交通省「国土強靭化計画」)、「東日本大震災における津波浸水想定」(国土交通省「国土強靭化計画」)。

文部科学省委託研究「日本海地震・津波調査プロジェクト」(研究代表：東京大学)および富山県防災調査活動の一環として開催します。
http://www.nsti.u-tokyo.ac.jp/project/Asian_Sea_2016.html



●第1回 京都府地震・津波防災地域研究会

テーマ 京都府の津波防災

開催月日 平成30年1月26日

- 第一部 説明・情報提供「日本海地震・津波調査プロジェクト：
日本海側の地震・津波の特徴について」
(東京大学地震研究所 教授 佐藤 比呂志)
- 内 容 第二部 情報提供「京都府の津波浸水想定・被害想定及び
津波災害警戒区域の指定について」
(京都府 府民生活部 防災消防企画課 調整・計画担当 副主査 三宅 英知 氏)
3. 意見交換「京都府における地震・津波防災への取組みと課題
～京都府の津波浸水想定・被害想定等を中心として～」

出席機関 府 市町 消防 警察 気象台 海保 研究者

備 考 ※今年度に新規立ち上げ.

